

平成25(2013)年度
東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム
「数物フロンティア・リーディング大学院 (FMSP)」
コース生募集要項 [25.10修士入学者用]

本プログラムの教育研究上の目的

本プログラムは、グローバルに活躍するリーダーを養成するため、修士課程から博士後期課程までの一貫した教育を行い、先端数学のトレーニングと研究活動を確固たるアイデンティティとし、既存の分野にとらわれず広い視野を持ち、数学力を発揮できる博士人材を育成することを目的とする。

養成する人材像

数学と諸科学に対してグローバルな視点を持ち、高度な数学を創成、展開しうる人材。最先端の数学を使いこなし、産業・環境分野に応用して社会に貢献しうる人材。

※ FMSPに関する詳細は、次を参照のこと。<http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~fmSP/>

1. 申請資格

本コース生の申請をすることのできる大学院学生は、本学大学院の数理科学研究科「数理科学専攻」並びに理学系研究科「物理学専攻」及び「地球惑星科学専攻」のいずれかの**修士課程（博士前期課程）**に、**本年10月に入学予定の者**で、かつ、次の要件を全て満たす者とする。（注1）

- ・ 広い意味での数理科学の分野で博士の学位を取得しようとする者
- ・ 数理科学の社会・産業応用に関心を持ち、積極的にそれらを学修する意欲のある者
- ・ 本プログラムの趣旨、履修要件等のルールを十分に理解する者
- ・ 上に記したいずれかの専攻の博士後期課程に進学することを目指す者（注2）
- ・ 日本学術振興会（JSPS）特別研究員DC1に応募し、採択された場合には本プログラムに引き続き在籍を続けることを確約する者
- ・ 博士の学位記に本プログラムを修了したことが付記されることを了解している者

（注1） 他のリーディング大学院への併願は認めない。

（注2） 修士課程修了後に企業に就職することを目指す学生は、コース生となることはできない。

2. 選抜方法

コース生の選抜は、申請書類（申請者情報、研究計画、エッセイ、研究活動の状況、指導教員の評価書）及び大学院入試成績、大学院修士課程成績を総合的に判断して行う。

3. 採用期間

コース生の採用期間は、平成25年10月1日から平成27年3月31日までとする。

さらに、平成27年2月に資格試験（Qualifying Examination）を行い、博士後期課程で引き続きプログラム履修が許可される学生を選抜する。選抜された学生の採用期間は、博士前期課程に引き続き、平成30年3月31日までとする。ただし、この場合、奨励金受給資格が与えられる者は、16人までとなる。

4. 奨励金の支給

コース生には、博士前期課程において月額15万円（注1）の奨励金が支給される。ただし、博士前期課程1年次における奨励金は月額12万円とし、平成26年3月に審査を行って、平成26年4月1日からの奨励金を月額15万円に増額するかどうかを決定する。国費留学生など他の奨励金を受給している場合は、リーディング大学院の奨励金の受給を辞退することを原則とするが、コース生としてプログラムを履修することはできる。

なお、奨励金を受給した場合は、日本学生支援機構奨学金等の受給やアルバイトができなくなるので留意すること。（詳細は、数理科学研究科教務係リーディング大学院担当または理学系各専攻教務リーディング大学院担当まで問い合わせること。）

（注1）本奨励金は雑所得の扱いとなり、税務署に所得税の確定申告が必要となる。申告漏れは脱税となるので十分注意すること。数理科学研究科教務係リーディング大学院担当および理学系各専攻教務リーディング大学院担当より翌年1月に手続き関係書類を配布する。

5. 募集人員

専攻	募集人員
数 理 科 学 物 理 学 地 球 惑 星 科 学	若干名

6. コース生の選抜結果発表及び採用手続き

- （1）コース生の選抜結果の発表は、平成25（2013）年9月2日（月）午後1時頃に数理科学研究科棟正面玄関及び理学部1号館西棟正面玄関に掲示するとともに、申請者全員に対し、選抜の結

果を本人あてに郵送する。

- (2) 採用手続書類は、発表と同時に、数理科学研究科教務係および理学系各専攻教務リーディング大学院担当で配付を開始する。また、郵送を希望する場合（7. (2) エ参照）は、本人あてに郵送する。採用内定者は、採用手続要領により、所定の期間内に必要な採用手続（採用手続書類の提出）を行うこと。所定の期内に採用手続を行わない場合は、採用内定を辞退したものとして取り扱う。

7. コース生申請手続

(1) 申請方法

- ア. 申請は窓口で直接提出するか、又は郵送により行うこと。
- イ. 郵送により申請する場合は、(2)の「申請書類等」を一括して任意の封筒に入れ、郵便局窓口において「書留郵便」の手続きをすること。
- ウ. 受付期間 平成25(2013)年7月1日(月)から7月11日(木)17:00まで。
郵送の場合も、7月11日(木)必着とする。
- エ. あて先

数理科学研究科の大学院生

〒153-8914 東京都目黒区駒場3丁目8番1号
東京大学大学院数理科学研究科教務係リーディング大学院担当
電話 03-5465-7053

理学系研究科の大学院生

所属する専攻の教務に提出のこと。

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号
東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教務、または地球惑星科学専攻教務

(2) 申請書類等

- ア. 履修申請書 本研究科所定の用紙に所要事項を記入したもの。
- イ. 教員の意見書 本研究科所定の用紙に指導教員が記載し、厳封したもの。
- ウ. 封筒 選抜結果送付用として使用するので、申請者本人のあて名を記入し、80円分の切手を貼ること。
- エ. 切手 採用手続き書類送付用として使用するので、コース生に採用された場合に採用書類の郵送を希望する者は、返信用の切手(140円分)を同封すること。不採択の場合には返却する。

8. 注 意 事 項

- (1) 受付期間内に必要書類が完備しない申請は、受理しない。
- (2) 申請手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めない。
- (3) 事情により、申請手続等について変更することがある。変更があった場合は、改めて通知する。
- (4) 申請に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①履修者選抜（申請処理、選抜実施）、②採用者発表、③採用手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、採用者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（就職支援、授業料免除申請等）に関する業務を行うために利用する。
- (5) 申請書における記載内容について虚偽の記載をした者は、採用後においても遡ってコース生であることを取り消すことがある。

平成25（2013）年 5月